

令和 3 年 2 月 26 日

J A 中野市園芸課

場所：JA 中野市営農センター2 階会議室

花き生産振興説明会資料

1. 開会

2. 内容

花き栽培暦

別紙

シャクヤク

別紙

アスター

2 ページ

ワレモコウ

3 ページ

ハボタン

4 ページ

トルコギキョウ

6 ページ



シャクヤク



アスター



ワレモコウ

3. その他

令和 3 年度 園芸特別対策事業、農業振興開発事業
順次募集が始まる予定です。詳しくは、下記担当まで
排水対策、トルコギキョウ推進品種種苗助成、ナルコ
ラン・ハボタン寒冷紗購入助成、ワレモコウ種苗助成 ほか

また 令和 3 年度 県単（花き雨よけハウス導入助成）、市単
事業（シャクヤク新品種種苗助成）についてもお相談承ります。



トルコギキョウ



ハボタン

栽培希望申し込み締切 2月19日（金）まで
園芸課 23-3933 荒井、久野

(2) アスター 省力、露地で需要期出荷

キク科 エゾギク属 1年草

●ポイント

- ・栽培期間約 4 ヶ月
- ・夏場の収入（複合経営者など）
- ・作りやすい品目（新規栽培者向け）
- ・販売単価の乱高下が無く安定収入



●所得

10a 当たり

収益：1,200,000 円 経費：710,000 円

所得：490,000 円

※別紙詳細

●作型

4 月上	5 月上	6 月	7 月中・下	(7 月末～お盆まで)
播種・育苗管理	定植	栽培管理	脱葉・収穫	収穫

●栽培について

✓育苗（4 月上）

ビニールハウスなどがあれば発芽と栽培適温確保のために利用する。通常の育苗の場合、1a 分の育苗面積は 1.5 m²ほど必要。播種から定植まで 1 ヶ月間灌水などの管理を行う。

✓定植（5 月上）

手植えが主流だが、チェーンポットの定植も推進中。資材のコストがかかるが（1a/約 6,000 円ほど）定植時間の大幅減、体への負担少なく、活着が良いのでロスも少なくなる。

✓脱葉（7 月上）

下葉をかくことで風通しを良くし病気の中野市内の発生率を下げる。また荷造り時の葉かきが少なくなるため、作業の分散にもつながる。

✓収穫・荷造り・出荷（7 月末～）

収穫は出荷の前日に行い、荷姿を調整する。その後水あげを一晩行い専用の段ボールに箱入れし、翌日の朝午前 5 時 30 分から 9 時までに南部共選所に持ちこむ。収穫期間はおよそ 2 週間程度。収穫、荷造り、出荷が最も時間がかかる作業である。

●その他

新技術の導入や品種の試験を行い省力化や出荷時期の分散で生産者の所得向上を図っている。新規栽培者や既存栽培者を対象に栽培に関する講習会を作業ごとに随時行っている。



図 1：育苗の様



図 2：定植機

(3) フレモコウ 省力、露地オータム（秋）素材注目度 UP

バラ科フレモコウ属

フレモコウは、日本各地の山野の草原に自生する宿根草です。草丈 50～150 cm 茎は分枝して 8～10 月に 1～2 cm の暗紅色の花を多くつけます。古くから秋草として鑑賞されてきた山野草の一つで、他の山野草、枝物や洋花ともよく調和するため広く用いられます。

栽培は比較的容易であり、補完品目として取り入れることができます。

生理・生態

耐寒性は極めて強く、夏期冷涼な地域の方が生育旺盛となります。土質はほとんど選ばないが、やや湿り気のある肥沃な土壌が適します。乾燥する場所では生育が悪くなるが、滞水するような場所も好ましくない。

株養成 2 年、3 年目から商品性の高い花が収穫できるようになり、3～4 年は、据え置き栽培ができます。

栽培管理

定植 6 月上旬頃- 苗 約 500～450 本/10a

床幅 条間 60cm、株間 30～40cm

元肥: 10a 当たり 堆肥 2～3t 要素各 10kg

乾燥防止: 高温と乾燥防止のため敷きワラが望ましい。

摘心: 収穫年は、5 月下旬～6 月上旬に本葉 5～6 枚を残して行います。

株分け: 春または秋に行い、あまり小さく分けると花付きが悪くなり貧弱となります。

収穫

収穫は早切りせず、開花させてから行い、速やかに水上げを行います。

出荷

8 月下旬～10 月頃まで

病害虫

薬害が起こりやすい品目のため、初期の防除が重要です。萌芽期からハマキムシ類、コガネムシ、カメムシ類、コウモリガ、ハダニ類の発生があります。また、うどんこ病、炭疽病、べと病の発生前薬剤散布が重要です。

所得目安

数量 22,500 本 収益 1,800,000 円
所得 900,000 円



倒伏防止の支柱も忘れずに

(4) ハボタン 省力、冬期所得、需要期狙い

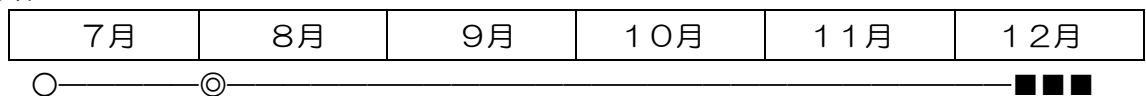
アブラナ科

ハボタンは、冷涼な気候を好み、生育適温は10℃～20℃。お正月の切花アレンジメントの材料として、高性の品種を用いる。後作として作付けができ省力栽培です。

栽培

栽培にはハウス等の施設を必要です。

①作型



○ 播種 ◎定植 ■収穫期

- ②元肥 トルコギキョウの後作では無肥料とする。
(その他は成分で1 aあたり0.8～1.2 kg)

圃場選定 根こぶ病感染土壌をさける。

③播種

直播きより移植のほうがよい。

播種時期は7月中下旬頃とし、発芽適温は20℃～25℃。発芽が揃ったら萎れないように灌水は控えめに管理し、日の当たる風通しの良い場所で徒長させないようにする。

発芽は、播種後2～3日。

遅まき、多肥料で、下葉かきをしないで生育すると結球することがあるので注意する。

●セル成型育苗（プラグ播き）

培土は、しなの花用培土を使用し、200～288穴のトレイに播種する。

●箱播き

1袋（1,000粒）で2枚に播種。

④定植

本葉2～3枚になったら定植適期（老化苗はダメ）。12～15cmフラワーネット

に2本定植し、圃場は、日当たりと排水のよい場所を選ぶ。

莖がまっすぐになるよう植え付け、子葉が土に埋まらない程度に深植えとする。定植後は、活着するまで十分な灌水を行い、草丈30cmになったら下葉かきをします。全体の3分の1程度残し、摘葉する。3～4回程度生育に合わせて行う。

但しあまり茎が太い場合は、多めに葉をかく。逆に、草丈が伸びず、株も大きくならない場合は、初期の活着不良、灌水不足、あるいは加湿による根痛みが考えられます。その場合灌水及び、液肥による追肥を行う。

フラワーネットはこまめに上げ、茎が曲がらないように行う。

⑤出荷調整

着色は低温により発現する。最低気温が 12～13℃位に下がり始めてから約 1 ヶ月かかる。但し、3 日程度暖かいと色がグリーンに戻るので注意する。



株間6～7,5 cm

⑥出荷



密植



規格は80 cm、70 cm

品種、種苗注文について

品種：晴姿（白に芯がピンク）

初紅（グリーンに芯が赤（タキイ） 1,000 粒

所得目安

数量 47,000 本 収益 3,055,000 円 所得 1,525,000 円

(5) トルコギキョウ（ハウスが必要です）

所得良い、用途広い、長期収穫可

リンドウ科ユーストマ属

生理・生態

育苗期に一定の低温に遭遇するか涼温下で経過するとその後の温度（高温）の影響を受けにくくなり、順調に開花し生育に至ります。

長日植物のため、高温、長日で開花が促進し、光合成速度は 18～26℃付近で最も高い。

生育条件

水と光と温度を十分に必要とします。

温度…トルコギキョウの生育温度は、日中の気温が 35℃以下、夜間は最低 10℃以上の上に生育し、最も順調な生育温度は日中 25℃以下で夜間 15℃前後です。

高温時の管理

花芽分化は、様々な環境条件に影響され、日長と温度、特に夜温に支配されます。

- ・夜温 15℃以上の場合は、ハウスを換気します。
- ・出蕾後の頻繁な灌水は、花首の徒長と茎折れになるため様子を見ながら行います。

夜温	花芽分化までの日数
10℃	120 日
15℃	70 日
20℃	60 日

栽培管理

定植

灌水

下枝取り

上枝取り

中心花取り

1 花 1 蕾仕立て（大輪）



トルコギキョウ定植



圃場の様子



荷づくり



出荷形態

所得目安

数量 23,500 本 収益 2,350,000 円 所得 700,000 円（原価償却費 215,000 円）